

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.135

2017.1.5

発行：平和憲法・9条をまもる

岩手の会 実務者会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL019-684-2225

FAX019-684-2227

《新春メッセージ》



安倍政治と有権者・市民との「断絶」にクサビを打ち込む年に！

平和憲法・9条をまもる岩手の会呼びかけ人 岩手県生協連会長理事 加藤善正

2017年の新春にあたり、ご挨拶を申し上げます。

昨年は、1966年に設立された私どもの「岩手県生協連創立50周年」にあたり、「平和とよりよき生活のために」「地域根ざし役立ち・信用され・サポートされる生協運動」の原点を再確認しましたが、50年先を見つめて、今後とも皆様と「ご一緒」の活動を推進いたしたいと決意を強めておりますので、何卒、宜しく願い申し上げます。

さて、安倍政治は益々危険な政策を「法と秩序・国民世論」を無視して強行しております。憲法に違反する「特定秘密保護法」「戦争法」「自衛隊の海外派兵」を強行採決して施行しましたが、最近の悪法三法（カジノ解禁推進法、年金カット法、TPP承認・関連法）の強行採決は、議会制民主主義もこれまでの政治ルールもお構いなしに、多数議席を振りかざす「独裁政治」ともいえる状況です。

NHKの世論調査ですら、カジノ法は反対44%、賛成12%、どちらともいえない34%。年金カット法は反対37%、賛成15%、どちらともいえない40%。TPP法も70%以上が「慎重審議」を求めています。短時間の形だけの審議で国民の納得など意に介せず強行する国会は、その存在意義すら否定するものです。安倍与党は主権者・国民の意思など聞く耳を持っていない証拠であり、多くの有権者が先行きに大きな不安と政治不信を高めているのも当然です。

今世界は「英国のEU離脱」「アメリカ大統領選でのトランプ勝利」「EU官僚の新自由主義政策の強行」「多国籍企業・金融資本のグローバル化による貧困と格差の蔓延」「タックスヘイブン（租税回避地）による巨利蓄積」など、新自由主義による貧困と格差の拡大政治と働く国民・有権者との「断絶」が益々明らかになっています。

新年は、こうした世界的に広がる「断絶」にクサビを打ち込み、我が国においても激動の時代を速めて、有権者・市民の願いを実現する「政治」を引き寄せたいものです。

ご案内 ～ 1月22日(日)は、交流して・学んで・行動する日！ ～

平和憲法・9条をまもる岩手の会 「学習・活動交流会」

と き：1月22日(日) 10:30～12:00

ところ：岩手県水産会館 5階大会議室

参加費：500円

内 容：◇音楽と語りで感動のひと時を！

CD 平和コンサート

◇活動報告（平泉・9条の会、
松園9条の会）

戦争させない・9条壊すな！岩手の会 「1・22平和のつどい」

と き：1月22日(日) 13:00～15:00

※集会後デモ行進あり

ところ：岩手県公会堂大ホール

参加費：無料

内 容：◇「今こそ憲法をいかすとき」

伊藤千尋さん講演

（ジャーナリスト・九条の会世話人）

◇署名運動の提案、集会アピール



※詳しくは別紙チラシをご覧ください。

「改憲と戦争」～私たちはどう立ち向かうか～高田健さん講演会

～矢巾9条の会

12月4日（日）、「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」共同代表の高田健さんを講師に、紫波・古舘・都南・矢巾4地区の「九条の会」合同記念講演会を開催。70人が参加しました。

高田さんは、「日本は今、『戦争しない時代』71年間に終止符を打つかどうかの歴史的岐路に立っている」と指摘。戦争法発動など安倍政権の危険性と共に、緊迫する解散・総選挙での野党共闘と市民連合の役割について語りました。安倍政権の打倒のためには、新潟県知事選のように、無党派や自民・公明の支持層まで引き付けるような政策や共闘する勢力が必要だと強調。市民連合的な運動を全国の小選挙区に構築する上で、九条の会は共同の軸となって奮闘しようと呼びかけました。

参加者からは、「安倍政権の暴走を止めるために様々な意見の違いを超えた協同を国会の内外で進めること、総選挙は野党共闘することで活路は開ける、という話を聞いてスッキリした」「私たち市民が一つになり運動をしなければ」などの感想が出されました。



コラム＝これが首脳会談！？ 首脳会議！？ 皆さんはどう思いますか

世に「俯瞰する」と言う。年末は報道に接していて「俯瞰」の真似事をしようと思う。一国の首脳である安倍首相の「外交」は、余りにも酷過ぎる。

先ずは一昨年秋、中国・杭州での20カ国・地域首脳会議（G20）。「兜に鎧」姿で参じたはずの安倍首相、中国国家主席の習近平氏との「会談」、両国の国旗掲揚もない略式の「会談」。同首相は「予定を20分延長し40分話した」と主張。本会議でもこれと言った発言もない。鳴かず飛ばずで中国側に頭を押さえられた姿。「安倍首相の外交不発」との報道。清朝末期の廢れた中国のその後における、国際政治における外交力の発展を印象付けるものと思った。

また、米大統領選挙終了後間もない昨年11月。トランプ氏の私邸を訪問したが、何を語ったか明言せず。大統領に就任もしていない同氏と「首脳会談」でもあったかのような「会談」。同氏は安倍首相を見送る時、両手を広げて「高笑い」であった。その後外交官などから漏れ聞こえたのは、同氏はあまり語らず聞くだけで、安倍首相が「日米同盟維持・強化」を語ったとか。同氏の「高笑い」の要因はこれか。「軍事同盟」の話なんて、日本国民にも国際政治にもとんでもない話。「飛んで火に入る夏の虫」か。

さらに、12月にロシア・プーチン大統領来日。来日直前インタビューで、会談内容についてリーク。「ウラジミール！」「君を歓迎する！」とか言ってもプーチン氏は相好を崩さず、期待の領土問題進展は全くなし。自民党幹事長は「国民の大半はがっかり」との評価。「新しいアプローチ」と言っても理論武装なく、クレムリンの壁に跳ね返され、赤の広場を転げ回っている姿。

加えて、昨年末にオとバマ大統領とハワイ真珠湾に戦没者慰霊訪問首脳会談。これも米国国家安全保障会議（NSC）のアジア上級部長がインタビューで、「両氏は真珠湾訪問時に示す所感で、戦火を交えて日米が同盟国に変容した『和解の力』を訴えると明らかにした」と事前にリーク。これって首脳会談！？このことについて新年に改めて考えてみようと思う。

日米同盟、「戦争する国」にする安倍首相は、戦争もしようと思っていると思うのは考えすぎか。安倍首相の「言動」は、1ミリでも許せますか。（T）

報告

岩手の会では、沖縄のオスプレイ墜落事故に対し、安倍首相とケネディ米駐日大使宛に、事故究明及び安全確認されるまで、国内でのオスプレイ飛行停止を強く求め、再発防止策を公表しない限りオスプレイの飛行は絶対に認めない、という抗議・要請文を、12月20日に送付しました。

今月の署名行動

1月～3月も街頭署名行動を行います。10日（火）12:15～12:45「野村證券前」です。寒い中ではありますが、憲法9条を守れ！の声をあげ、気持ちも新たに取組んで行きましょう！